

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		みどり館維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2143
予算科目		会計一般	款3	項1	目5	事業連番10433	法令根拠	合志市福祉センターみどり館条例・同施行規則 指定管理協定書・年度協	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	○平成14年4月、市民の保健福祉及び健康の増進並びに教養文化の向上を図るため、みどり館が開館。地方自治法の改正により、平成18年9月から指定管理者制度による管理運営に移行している。現在、第2期(H21.10~H24.3)の指定管理期間であり、24年度以降の指定の手続きが必要となる。 ○みどり館の管理運営を指定管理者(合志市社会福祉協議会)に行わせる。 ・各年度の指定管理料及び支払方法について年度協定を締結する。 ・モニタリング(月次の業務報告書、年度の事業報告書、アンケート調査を受け、管理運営状況の確認)を行う。 ・年間修繕額が12万円を超えたとき、指定管理者と費用負担の協議を行い、市が負担する修繕を行う。
【業務の流れ】	【毎年度】○年度協定の締結(4月) ○モニタリングの実施(月次報告の確認等) ○年間額12万円を超えたときの修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎) 【更新の前年度】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部→議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項の作成・配布、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	需用費(修繕費・施設修繕費)、委託料(指定管理料)
【意見や要望】	従業員の接遇を指導改善してほしいとの苦情があった。 定期利用者に対しカード(回数券)を発行してはどうかとの提案があった。 老人顔の家とみどり館の利用料金等の統一を図るようとの意見がある。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	○年度協定の締結 ○モニタリングの実施(月次報告の確認等) ○年間額12万円を超える修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 22年度と同様 23年度は更新の前年度であるから、○管理方法・募集方法・指定期間の決定 ○指定管理者の募集 ○選定委員会の開催 ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○基本協定の作成・締結
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:みどり館施設補修箇所数 イ:施設等修理金額	(単位) 箇所 千円 予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(利用者)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:利用者数 イ:人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	不都合なく安全に利用してもらう	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:施設・サービス等について満足と答えた割合 イ:%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート(施設・サービスに対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア 箇所		2	2	2	16	2	0	0	
	イ 千円		300	155	300	645	200	0	0	
②対象指標	ア 人		28,471	17,812	17,812	22,427	22,427	23,000	23,000	
	イ									
③成果指標	ア %		0	0	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	20,461	21,447	21,700	21,949	21,700	21,500	21,500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	62	409	400	370	400	400	400
(B)人件費計	千円	248	1,627	1,592	1,524	1,648	1,648	1,648		
トータルコスト(A)+(B)	千円	20,709	23,074	23,292	23,473	23,348	23,148	23,148		

総トータルコスト  
全体計画  
~  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	みどり館維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 引き続き、接客教育や日々の施設・設備点検等を行うことにより、利用者に満足していただける。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理者による従業者への接客教育や日々の施設・設備点検等により、上位の満足度へ上げることができる。また、修繕負担協議額を引上げることにより迅速な対応ができ、満足度をあげることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指定管理者は市委託事業であるデイサービス業務を当館で実施しており、現状での指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者が委託する業務の統合・縮減・仕様・工法の見直しにより、また、利用者のエコ意識を高める取組みなどによって、光熱水費を削減すること等により、指定管理料の削減が図られる。修繕費の限度額を引上げることにより市負担の修繕費を削減できる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民が利用する公共施設であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理者制度により管理運営している施設である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

レジオネラ属菌の発生により浴室の利用停止(8/6~8/20)があった。自主管理マニュアルに基づく適正管理に努めること、日常清掃等を入念に行うことなどを指導した。  
利用者調査(アンケート)の回答数が少ない。アンケートの方法に工夫が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>修繕負担協議額の(現行12万円)の引き上げを行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下		△	△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>指定管理料の増額とならないよう適正な額の見極めが必要である。</p>																						